

就職みらい研究所

2019年6月28日
株式会社 リクルート キャリア

【2020年卒 理系学生TOPIC】 理系・学科系統によって最初の内定取得時期に差

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、大学生・大学院生を対象に調査を実施しております。本リリースでは、「就職プロセス調査（2020年卒）【確報版】2019年6月1日時点 内定状況」をうけ、文系学生に比べ高い就職内定率となっている理系学生について、学科系統ごとに就職活動の動向を分析したものを報告します。

最初の内定取得ピークは「建築・土木系」「機械・電子・電気系」「情報工学系」の順に早い



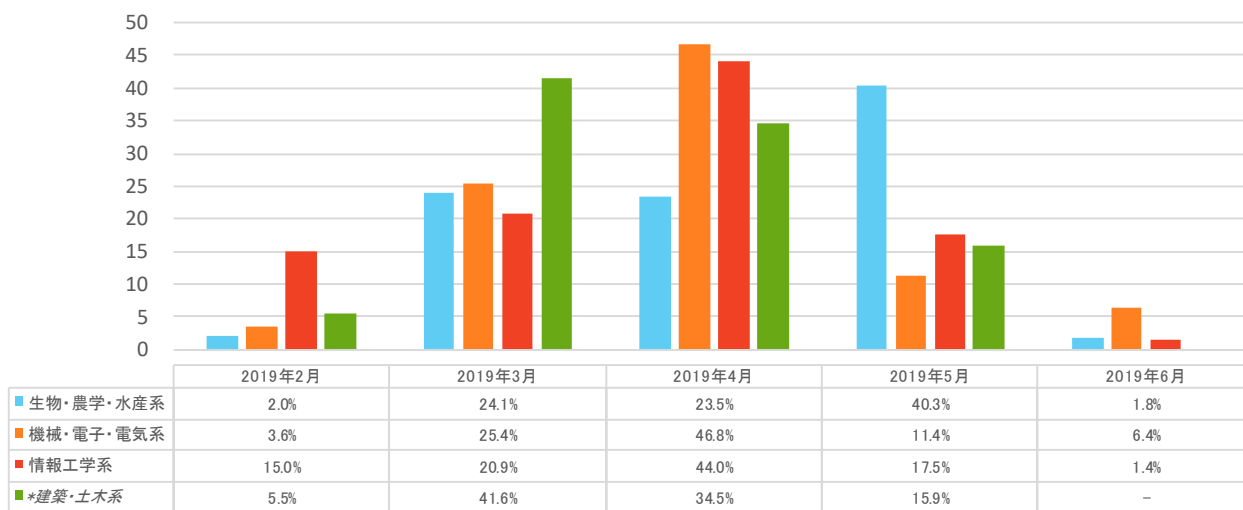
今回、2020年卒6月1日時点での理系学生の動向を「生物・農学・水産系」「機械・電子・電気系」「情報工学系」「建築・土木系」等の学科系統別に分類し、調査結果を分析しました。本分析は2020年卒が初実施となります。本分析では「最初の内定取得時期」が学科系統別に異なることがわかりました。「建築・土木系」「機械・電子・電気系」「情報工学系」の学生は就職活動の比較的早い段階で最初の内定を取得。「生物・農学・水産系」の学生は5月がピークとなっています。学科系統によって応募する業種が異なり、業種によって異なる採用スケジュールの影響を受けているものと考えられます。

○調査内容サマリー

- ・「最初の内定取得時期」のピークは、それぞれ「建築・土木系」が3月（41.6%）、「機械・電子・電気系」が4月（46.8%）、「情報工学系」が4月（44.0%）、「生物・農学・水産系」が5月（40.3%）であった。
- ・「内定取得先企業の業種」について、「情報工学系」の86.5%が「情報・サービス業」、「機械・電子・電気系」の69.6%が「製造業」から内定を取得する一方、「生物・農学・水産系」の46.0%が「情報・サービス業」から内定を取得するなど学科系統によって主な内定取得の業種が異なることがわかった。

最初の内定取得時期 ※P2より抜粋

(%) 大学生_理系全体_学科系統別（就職志望者・内定取得者/単一回答）※大学院生除く



*集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL : 03-3211-7117 MAIL : kouho@waku-2.com

学科系統別にみる最初の内定取得時期（大学生・理系）

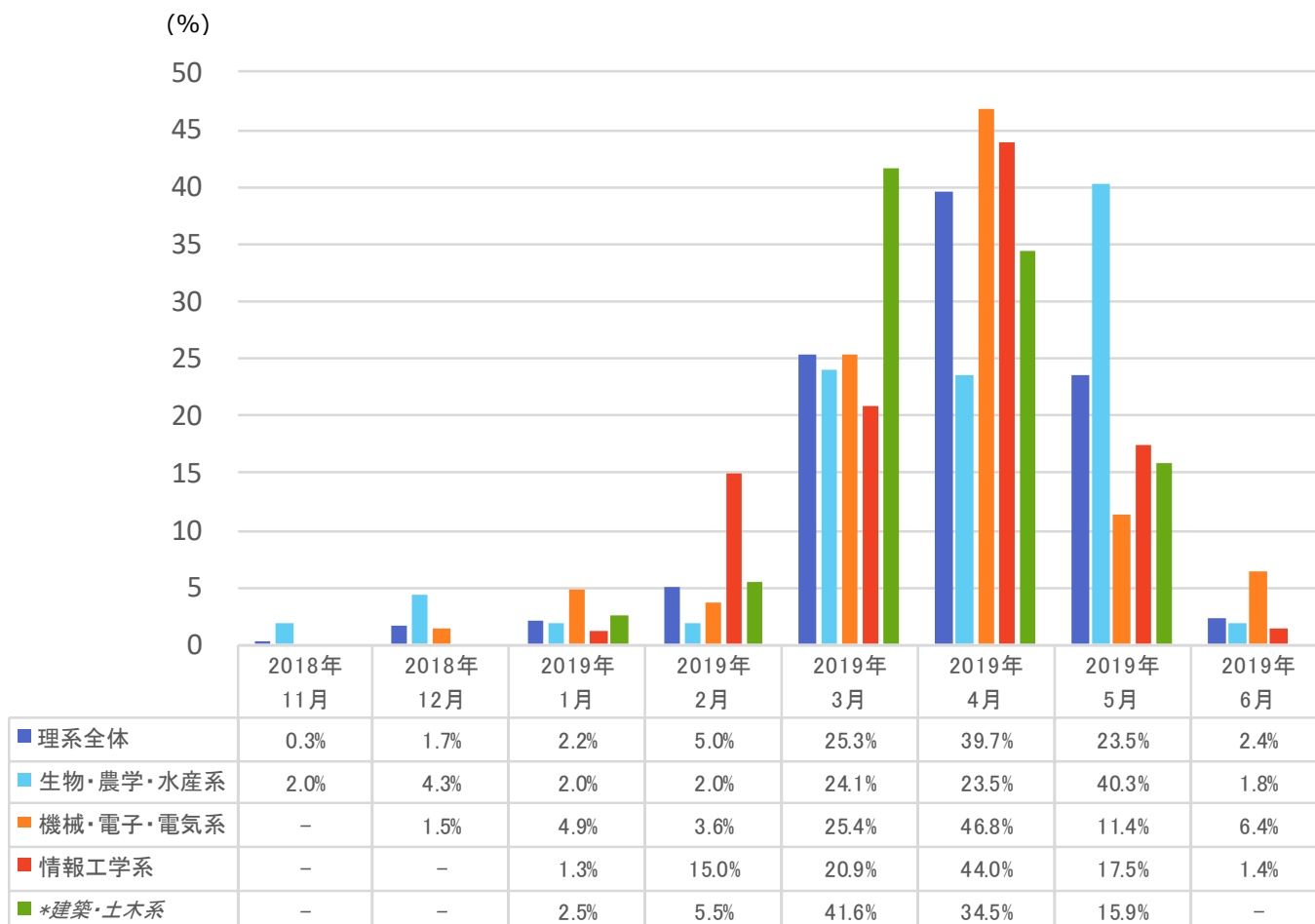
ピークは「建築・土木系」「機械・電子・電気系」「情報工学系」の順に早い

理系学生の最初の内定取得時期の違いについて、学科系統別に分析した。

- ・理系全体では、4月（39.7%）、3月（25.3%）、5月（23.5%）の順で高い。
 - ・「生物・農学・水産系」は、5月（40.3%）、3月（24.1%）、4月（23.5%）の順で高い。
 - ・「機械・電子・電気系」は、4月（46.8%）、3月（25.4%）、5月（11.4%）の順で高い。
 - ・「情報工学系」は、4月（44.0%）、3月（20.9%）、5月（17.5%）の順で高い。
- また、2月時点で15.0%となるなど、他の学科系統と比べ早くから内定取得が進んでいる。
- ・「建築・土木系」は3月（41.6%）、4月（34.5%）、5月（15.9%）の順で高い。

最初の内定取得時期

大学生_理系全体_学科系統別（就職志望者・内定取得者/単一回答）※大学院生除く



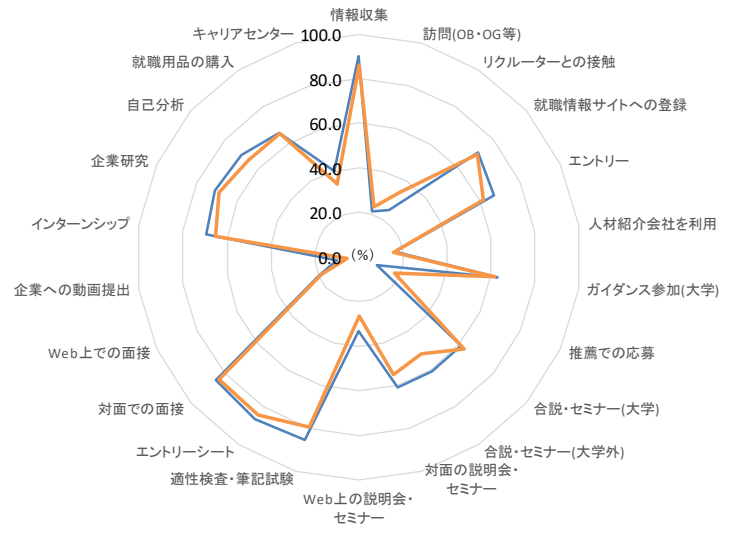
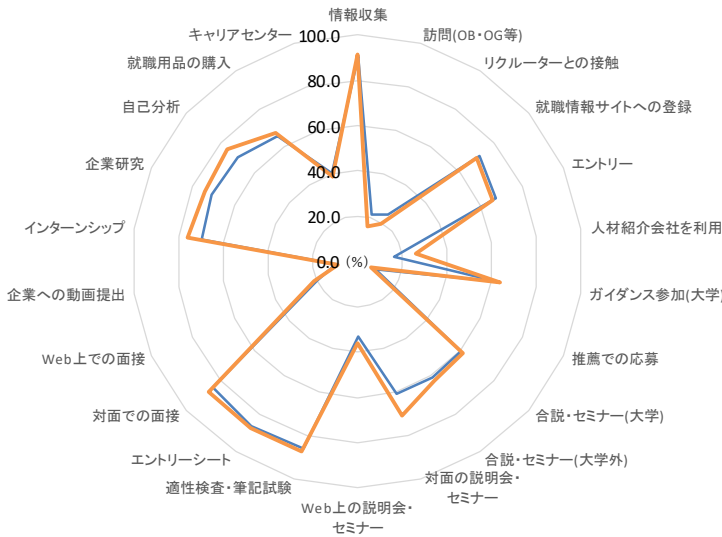
* 集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

学科系統別にみる就職活動の内容（大学生・理系）

5月末時点までの各活動実施率

大学生_理系全体_学科系統別（就職志望者・就職活動実施者/複数回答）※大学院生除く

※青は理系全体、オレンジは該当学科系統、解説文中()内は全体と該当学科系統の差(ポイント)

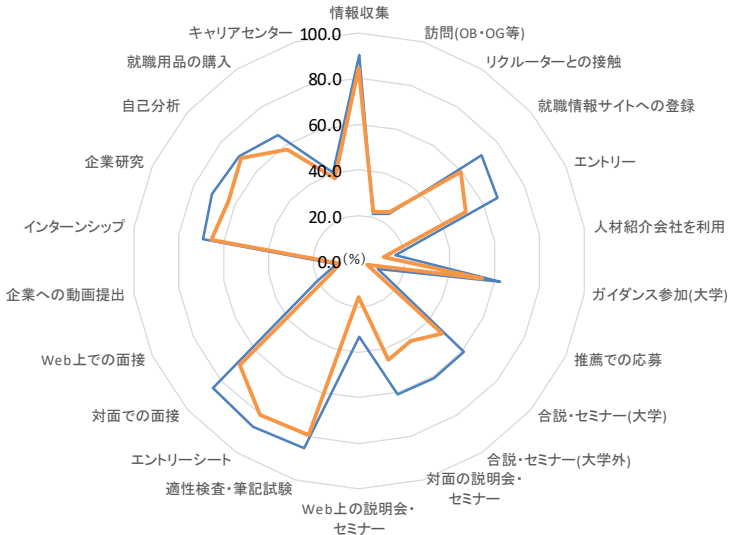
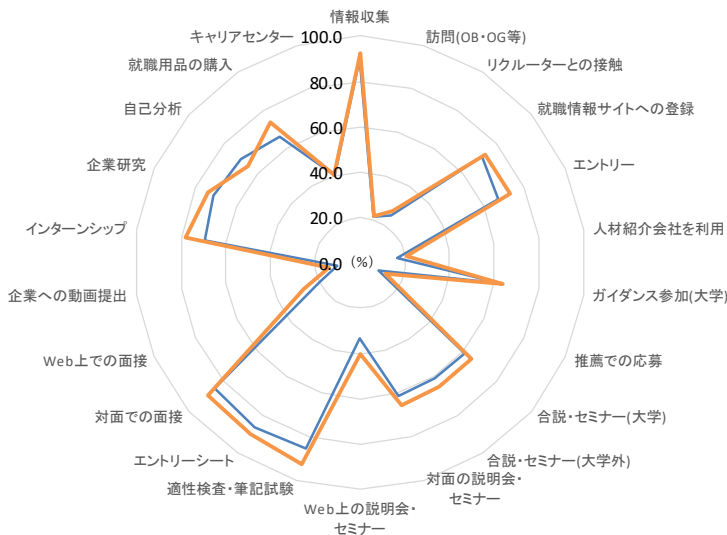


生物・農学・水産系

理系全体を上回っているものは「人材紹介会社を利用」(+9.6)、「対面の説明会・セミナー」(+9.6)、「インターンシップ」(+6.6)。理系全体を下回っているものは、差が大きいものから順に「訪問(OB・OG等)」(-5.2)、「リクルーターとの接触」(-5.1)、「推薦での応募」(-2.1)である。

機械・電子・電気系

理系全体を上回っているものは差が大きいものから順に「リクルーターとの接触」(+9.4)「推薦での応募」(+8.9)、「訪問(OB・OG)」(+2.0)である。理系全体を下回っているものは、差が大きいものから順に「合説・セミナー(大学外)」(-9.1)、「Web上の説明会・セミナー」(-6.8)、「キャリアセンター」(-6.2)である。



情報工学系

理系全体と比べ上回っているものは、差が大きいものから順に「インターンシップ」(+8.7)、「就職用品の購入」(+7.7)、「Web上での面接」(+7.6)である。理系全体を下回っているもののうち、差が大きいものは「自己分析」(-4.5)である。

*建築・土木系

理系全体と比べ下回っているものが多い。特に理系全体との差が大きい項目は、「合説・セミナー(大学外)」(-19.1)、「Web上の説明会・セミナー」(-17.4)、「対面の説明会・セミナー」(-15.7)、「エントリー」(-15.7)である。理系全体と下回っているものうち差が小さいものは、「企業への動画提出」(-1.4)、「自己分析」(-1.4)である。

* 集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

学科系統別にみる内定取得先企業の業種（大学生）

理系学生の約半数が「情報・サービス業」から内定を取得

内定取得先企業の業種を聴取したところ、理系全体では、「情報・サービス業」（53.0%）、「製造業」（38.1%）、「建設業」（9.6%）の順で高い。

- ・「生物・農学・水産系」は、「製造業」（47.0%）、「情報・サービス業」（46.0%）と並んでいる。また「流通業」からの内定取得が10.2%と他の学科系統と比べ高い。
- ・「機械・電子・電気系」は、「製造業」（69.6%）が最も高い。次いで、「情報・サービス業」（33.6%）である。
- ・「情報工学系」は、「情報・サービス業」（86.5%）が最も高い。次いで、「製造業」（13.3%）である。
- ・「建築・土木系」は、「建設業」（76.3%）が最も高い。次いで、「情報・サービス業」（25.3%）である。

内定取得先企業（業種別）

大学生_全体_文理_学科系統別（就職志望者・内定取得者/複数回答）※大学院生除く

	建設業	製造業	流通業	金融業	情報・サービス業
全体	5.9	28.9	13.6	11.4	57.8
文系全体	4.0	24.1	17.5	16.3	60.2
理系全体	9.6	38.1	6.1	2.0	53.0
生物・農学・水産系	—	47.0	10.2	2.6	46.0
機械・電子・電気系	1.5	69.6	2.1	1.6	33.6
情報工学系	3.7	13.3	3.8	—	86.5
*建築・土木系	76.3	2.5	4.9	—	25.3

(%)

*集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

(参考) 学科系統別にみる最初の内定取得時期 (大学院生・理系)

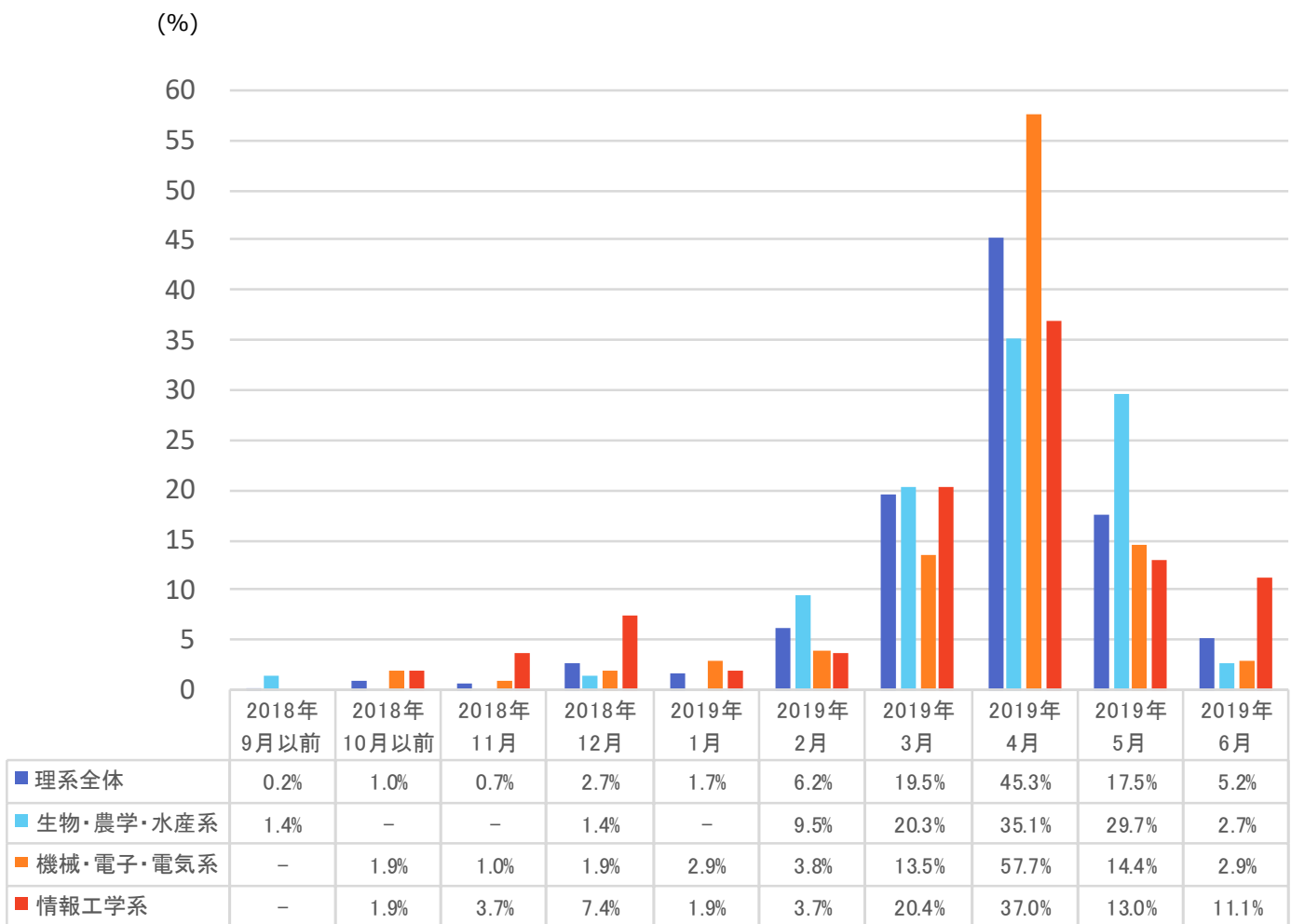
最初の内定取得時期は学科系統でピークが異なる

最初の内定取得時期の違いについて理系大学院生の学科系統別に分析した。

- ・理系大学院生全体では、4月(45.3%)、3月(19.5%)、5月(17.5%)の順で高い。
- ・「生物・農学・水産系」は、4月(35.1%)、5月(29.7%)、3月(20.3%)の順で高い。
- ・「機械・電子・電気系」は、4月(57.7%)、5月(14.4%)、3月(13.5%)の順で高い。
- ・「情報工学系」は、4月(37.0%)、3月(20.4%)、5月(13.0%)の順で高い。

最初の内定取得時期

大学院生_理系全体_学科系統別 (就職志望者・内定取得者/単一回答)

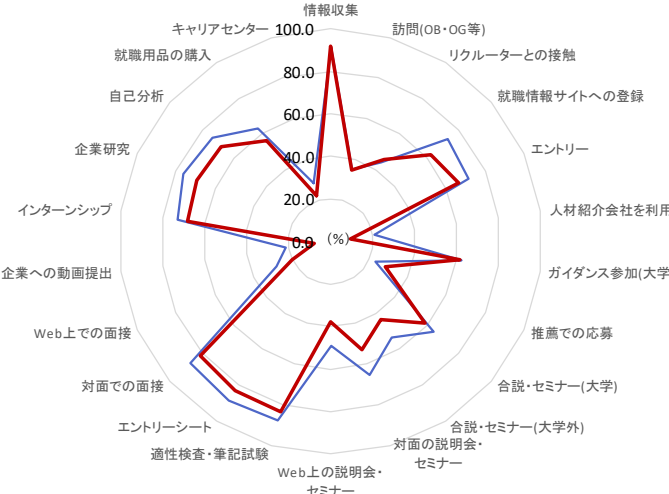
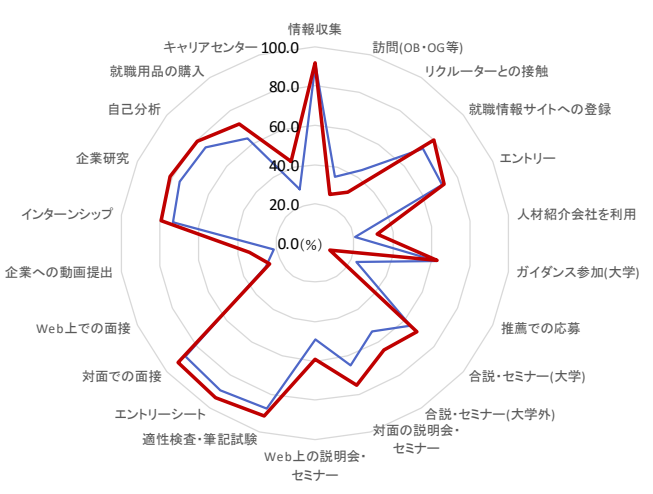


(参考) 学科系統別にみる就職活動の内容 (大学院生・理系)

5月末時点までの各活動実施率

大学院生_理系全体_学科系統別 (就職志望者・就職活動実施者/複数回答)

※青は理系大学院生全体、赤は該当学科系統、解説文中の()内は全体と該当学科系統の差(ポイント)

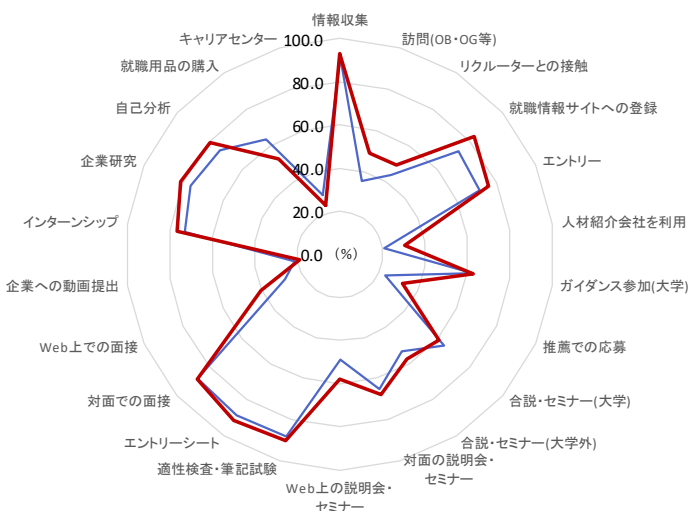


生物・農学・水産系

理系院生全体よりも各プロセスの実施率がおおむね上回っており、多面的に活動していることがわかる。全体を上回っているものの中でも「キャリアセンター」(+14.7)、「企業へ動画提出」(+12.7)、「合説・セミナー(大学外)」(+11.5)の差が特に大きい。理系院生全体を下回っているものは、差が大きいものから順に「推薦での応募」(-15.0)、「リクレーターとの接触」(-13.2)、「訪問(OB・OG等)」(-9.5)であった。

機械・電子・電気系

理系院生全体を下回る項目が多い。全体を下回っているもののうち、特に差が大きいものは「企業への動画提出」(-13.7)、「対面の説明会・セミナー」(-12.2)、「人材紹介会社を利用」(-11.5)である。理系院生全体を上回っているものとしては、差が大きいものから「推薦での応募」(+5.4)、「リクレーターとの接触」(+2.1)、「情報収集」(+0.4)である。



情報工学系

理系院生全体よりも各プロセスの実施率がほぼすべての項目で上回っており、多面的に活動していることがわかる。理系院生全体を上回っているものうち「訪問(OB・OG等)」(+13.9)、「Web上での面接」(+12.7)、「就職情報サイトへの登録」(+9.8)、「人材紹介会社の利用」(+9.8)の差が特に大きい。

(参考) 内定取得先企業の業種 (大学院生・理系)

7割を超える理系大学院生が「製造業」から内定を取得

内定取得先企業の業種を調査したところ、理系大学院生全体では、「製造業」(70.2%)、「情報・サービス業」(36.0%)、「建設業」(3.7%)の順で高い。

- ・「生物・農学・水産系」は、「製造業」が62.2%、「情報・サービス業」が43.2%。また、他の学科系統と比べると「建設業」、「流通業」、「金融業」から内定を取得している割合が高く、幅広い業種から内定を取得している。
- ・「機械・電子・電気系」は、「製造業」が91.3%であった。
- ・「情報工学系」は「情報・サービス業」が68.5%と最も高く、次いで「製造業」が35.2%である。

内定取得先企業 (業種別)

大学院生_全体_文理_学科系統別 (就職志望者・内定取得者/複数回答)

	(%)				
	建設業	製造業	流通業	金融業	情報・サービス業
全体	3.6	69.3	1.7	2.4	37.4
*文系全体	—	36.4	9.1	—	90.9
理系全体	3.7	70.2	1.5	2.5	36.0
生物・農学・水産系	4.1	62.2	5.4	2.7	43.2
機械・電子・電気系	1.9	91.3	—	1.0	18.3
情報工学系	—	35.2	—	3.7	68.5

*集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

データ集：各活動の実施率（大学生）

5月末時点までの各活動実施率

大学生_全体_文理_学科系統別（就職志望者・就職活動実施経験者/複数回答）※大学院生除く

（%）

	全体	文系全体	理系全体	生物・農学・ 水産系	機械・電子・ 電気系	情報工学系	*建築・ 土木系	*化学・ 物質工学系	その他・理系
就職に関する情報を収集した	87.7	86.6	90.2	91.3	85.8	92.6	84.4	97.0	91.0
OB・OGなど社会人の先輩を訪問した	23.0	23.8	21.4	16.2	23.4	21.3	22.4	29.0	20.7
リクルーターから接触された	28.3	29.8	24.8	19.7	34.2	27.0	25.4	30.1	19.3
就職情報サイトに登録した	67.3	65.5	71.2	69.6	70.4	73.1	59.4	75.0	74.0
企業にエントリー（資料・情報の請求）をした	64.2	62.9	67.1	65.7	61.9	72.9	51.4	77.8	69.5
人材紹介会社を利用した	20.0	21.7	16.3	25.9	15.6	20.7	10.6	16.8	11.6
大学で開催される就職ガイダンスに参加した	58.6	56.6	62.9	63.6	61.7	63.5	54.4	68.3	64.3
大学や先生などの推薦で 各種団体等に応募した	5.9	4.6	8.9	6.8	17.8	12.2	3.8	9.3	4.4
大学で開催される 合同説明会・セミナーに参加した	57.1	55.5	60.9	61.7	62.8	65.0	48.4	71.6	58.4
大学以外で開催される 合同説明会・セミナーに参加した	62.3	62.8	61.0	62.6	51.9	64.9	41.9	65.7	68.0
個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社 内、会場など）で開催されるものに参加した	60.7	60.6	61.0	70.6	54.9	65.5	45.3	59.0	62.9
個別企業の説明会・セミナーのうち、 Web上で開催されるものに参加した	33.0	32.9	33.2	36.1	26.4	40.5	15.8	41.0	35.1
適性検査や筆記試験を受けた	86.4	86.8	85.7	87.5	79.7	92.6	79.7	90.7	84.6
エントリーシートなどの書類を提出した	86.6	86.7	86.5	87.5	84.5	90.2	80.3	94.7	84.9
面接など対面での選考を受けた	84.4	84.2	84.8	87.5	83.7	89.5	69.1	91.6	85.0
Web上での面接を受けた	20.5	20.9	19.7	20.9	18.7	27.3	13.6	23.1	16.4
企業に自分で撮影した動画を提出した	14.9	17.1	10.0	9.1	5.3	13.7	8.6	21.0	8.5
インターンシップに参加した	63.3	60.4	69.5	76.1	65.3	78.2	65.6	77.9	63.0
企業研究（業種・職種研究を含む）をした	67.3	65.6	71.1	74.5	69.1	74.3	63.1	71.7	71.0
自己分析をした	71.4	72.1	69.9	76.0	65.7	65.4	68.5	77.6	71.0
スーツなど、就職活動に 必要なものを購入した	64.1	63.3	65.9	67.1	65.7	73.6	58.1	70.6	62.3
キャリアセンターに相談した	41.6	42.1	40.3	39.0	34.1	40.5	37.8	48.6	42.9
その他	0.3	0.1	0.6	—	—	—	2.0	—	1.3

* 集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

データ集：各活動の実施率（大学院生）

5月末時点までの各活動実施率

大学院生_全体_文理_学科系統別（就職志望者・就職活動実施経験者/複数回答）

（%）

	全体	*文系全体	理系全体	生物・農学・水産系	機械・電子・電気系	情報工学系	*建築・土木系	化学・物質工学系	その他・理系
就職に関する情報を収集した	91.1	88.9	91.2	91.8	91.6	93.2	90.9	89.6	90.8
OB・OGなど社会人の先輩を訪問した	35.0	27.8	35.3	25.8	35.3	49.2	27.3	35.8	36.8
リクルーターから接触された	43.3	22.2	44.1	30.9	46.2	49.2	45.5	54.7	39.1
就職情報サイトに登録した	72.8	61.1	73.3	80.4	62.2	83.1	63.6	76.4	71.3
企業にエントリー（資料・情報の請求）をした	70.8	55.6	71.4	72.2	66.4	76.3	72.7	73.6	71.3
人材紹介会社を利用した	20.9	27.8	20.7	32.0	9.2	30.5	9.1	23.6	14.9
大学で開催される就職ガイダンスに参加した	62.4	55.6	62.6	62.9	61.3	62.7	36.4	70.8	57.5
大学や先生などの推薦で各種団体等に応募した	22.7	11.1	23.2	8.2	28.6	32.2	—	34.0	16.1
大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した	63.8	44.4	64.5	69.1	58.8	61.0	54.5	72.6	60.9
大学以外で開催される合同説明会・セミナーに参加した	52.9	38.9	53.4	64.9	43.7	57.6	54.5	55.7	48.3
個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した	65.2	66.7	65.1	75.3	52.9	67.8	45.5	70.8	64.4
個別企業の説明会・セミナーのうち、Web上で開催されるものに参加した	49.1	55.6	48.9	58.8	37.8	57.6	36.4	50.9	46.0
適性検査や筆記試験を受けた	87.5	77.8	87.9	91.8	83.2	89.8	90.9	86.8	89.7
エントリーシートなどの書類を提出した	88.7	83.3	88.9	93.8	83.2	91.5	90.9	89.6	88.5
面接など対面での選考を受けた	87.3	77.8	87.7	92.8	81.5	88.1	90.9	90.6	86.2
Web上での面接を受けた	28.0	27.8	28.0	25.8	20.2	40.7	27.3	32.1	27.6
企業に自分で撮影した動画を提出した	20.9	11.1	21.3	34.0	7.6	18.6	18.2	27.4	20.7
インターンシップに参加した	71.8	38.9	73.1	79.4	68.1	76.3	72.7	74.5	69.0
企業研究（業種・職種研究を含む）をした	75.3	50.0	76.2	81.4	69.7	81.4	81.8	79.2	71.3
自己分析をした	73.6	61.1	74.1	79.4	68.1	79.7	72.7	74.5	72.4
スーツなど、就職活動に必要なものを購入した	62.8	50.0	63.3	72.2	56.3	52.5	54.5	71.7	60.9
キャリアセンターに相談した	28.8	33.3	28.6	43.3	22.7	23.7	9.1	31.1	23.0
その他	0.4	—	0.4	—	—	—	—	—	2.3

* 集計対象数が50に満たないため傾向値としてご活用ください。

調査概要

- 調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する
調査方法 | インターネット調査
集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2020年卒：2019年6月1日時点

- 調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生6,397人（内訳：大学生5,269人/大学院生1,128人）
調査期間 | 2019年6月3日（月）～6月8日（土）
集計対象 | 大学生 1,662人/大学院生 511人
※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2020/>

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路のすべて）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者 + 志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

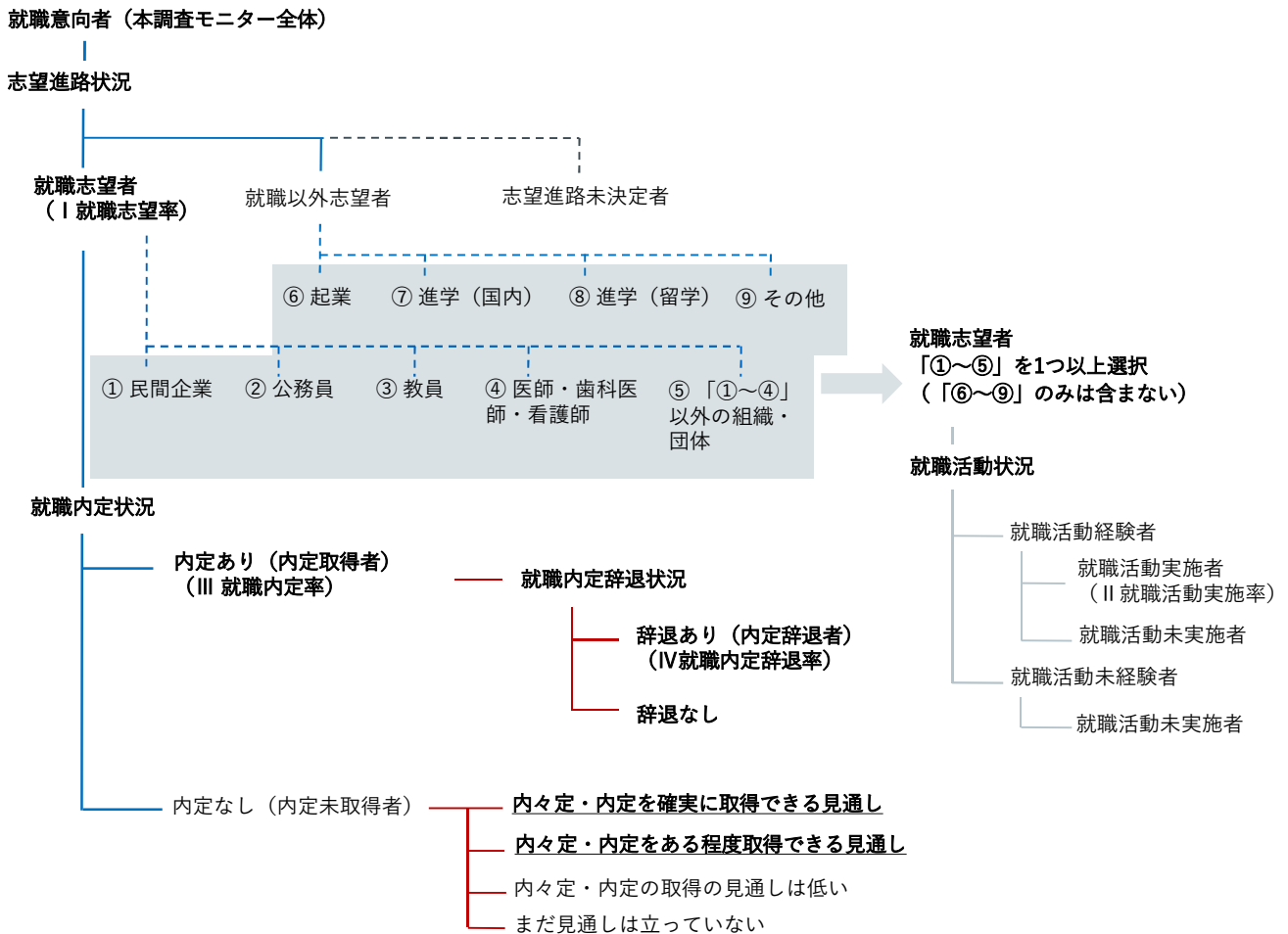
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者